

会議の概要(会議録)

会議の名称	第6回大牟田市庁舎整備基本構想策定審議会		
開催日時	令和 7 年 1 月 14 日(火) 午後 3 時から午後 3 時 45 分		
開催場所	北別館 4 階第 1 会議室		
出席者数	10 名 委員 宇都会長、奥園委員、萬矢委員、木藤委員、彌永委員、有松委員、紫牟田委員、畑田委員、三原委員、森田委員 事務局及び説明者 庁舎整備・組織改革担当部長、庁舎整備・組織改革推進室職員5名、業務委託者 3 名		
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	5 名
議 題	議事 (1)パブリックコメントの実施結果について (2)基本構想(最終案)について (3)答申(案)について (4)今後の進め方について		
議事概要	・議事(1)から(4)について、説明者から説明を行い、質疑応答を行った。 ・事前配布資料についての修正項目はなし。 ・決定した基本構想、答申及び付帯意見については、1/28 に審議会の成果品として市長に答申する。 ・答申の出席者は、宇都会長、森田委員、三原委員の3名。		
配布資料	資料 1 パブリックコメントの実施結果について 資料 1(別紙) 提出された意見の概要と市の考え 資料 2 基本構想(最終案) 資料 2-2 基本構想(概要版) 資料 3 答申(案) 資料 4 今後の進め方について *市情報公開センター及び市HPで閲覧に供する。		

議事経過

会 長	昨年10月に行った(1)パブリックコメントの実施結果について事務局からの説明を求める。
事 務 局	資料 1、資料 1(別紙)を説明。
会 長	事務局の説明に質問・意見はないか。
委 員	敷地についての質問が多かったように見受けられる。災害や浸水の話は市民に伝わっていると思っていたが、基本構想案を確認せず意見をいただいたということによいか。
事 務 局	高潮等の検討について、また笹林公園の案を選定した理由は、広報おおむたにも掲載したが、それを加味せずいただいた意見もあるものと推測する。
委 員	庁舎の建設地として、ゆめタウンやイオンモール、廃校の意見が多く見られた。他の自治体でも廃校利用はあるが、統合して使われなくなった学校を利用しないのには何かしらの理由があると思う。複雑な理由があるかもしれないが、利用しない理由を明記すれば市民の納得が得られる可能性があるのではないか。
事 務 局	理由の1つ目は、令和2年に実施した市民アンケートにおいて、庁舎は現在地周辺が望ましい意見を6割の方からいただいているが、廃校は近くにないこと。2つ目は、庁舎を集約して整備し北別館等残る庁舎の利用を考えたとき、離れた廃校を使うと災害時等に参集がしにくいなどのデメリットがある。 また、学校と防災機能を有する庁舎では耐震基準が異なり、防災機能を持つ建物は1.5倍必要だが、学校は1.25倍であるため、整理が難しいと考える。
委 員	市民意見の中で本館の利用について納得していない意見が見受けられる。本館を市庁舎として使わないというのはだいぶ前から庁舎整備の検討にあたって大前提のものだったと思う。説明しても納得いただけない方がおられるという認識で間違いはないか。

事務局	本館については愛着を持って活動していच्छる方もいることは確か。その方々からすると審議会の議論の中で反映を望むご意見が出てきているのではないかと思います。本館を庁舎として利用しないという方針であることを前提にこの審議会を開いているので、意見の反映は難しいと考えている。
会長	この審議会では、新庁舎の在り方という事で、本館は基本的に民間活用として保存されるというのが前提でスタートしていたが、その理解や周知について難しい点があると感じる。本館は、市民の方々が使えるよう検討されることを望み、庁舎としては使わないという形で整理する。他に意見はないか。
委員	なしの声
会長	パブリックコメントについての考え方は了承されたという事で次の議題に移る。(2)基本構想の最終案の説明を求める。
事務局	資料 2、資料 2-2 を説明。
会長	パブリックコメントでいくつか意見は出たものの、参考意見として取扱い、基本構想は本案を最終案としたいが、各委員の意見を求める。
委員	基本構想案の10Pにある執務環境調査の部分について、本市は書類がかなり多く、ペーパーレス化の時代であるから今後効率化にもつながる方策を進めてもらいたい。
委員	素案では A 案から E 案まであったが、現在のわかりづらい執務室の配置を解消し、駐車場の絡みも含め良い案としてまとまったと思う。また、代替公園の整備により本館がより民間の方も使いやすく市民が集える空間になるのが想像できる案になったのではないか。
委員	既存駐車場を利用するか新設するかという最終2案について、価格は上がるが、私も利便性が向上し、長期的に利用できる新設案が良いと思う。また、笹林公園に庁舎ができることで高潮対策など災害拠点としての機能を果たせる良い案にまとまり納得できるものとなっている。

委 員	これまでの審議を経てよい形にまとまっていると思う。9階建ての150億円という事を市民の方々にどう納得いただくかということ、また、物価や人件費の高騰がある中で、あくまでも現段階での試算であるという事も注意しなければならない。市民の方からも事業費を圧縮する意見をいただくことになるであろうが、具体的に配置する課室などイメージを示すことで納得いただける可能性があるのではないか。
委 員	次世代を代表して意見を述べさせていただく。総工費や面積については、これから基本計画を策定するうえで検討の余地はあると理解する。どちらも少なければ少ないほど良いと思う。9階建ての件も今後庁舎を集約化していく中で、コンパクトシティを推進するものと納得する。新しい安全な建物で職員が働けること、また市民の方もわかりやすい庁舎でサービスを受けることができ、費用は掛かるが先行投資と考える。
委 員	様々な立場の方の意見により基本構想の議論を行うことができ、案がまとまったことは素晴らしい。新庁舎の建設については、大牟田市の財政が厳しいことが市民の方の念頭にあり、無駄なものという声も聞く。しかし、災害のことなど十分に視野に入れ、障害のある方、子ども、高齢者、庁舎で働く職員のことも考えながら議論ができたと思う。市民の方が本当に使いやすいという有効な建物の案になったと思っている。
委 員	パブコメの意見提出や10月の広報おおむたを読むように周りに働きかけたが、意見提出が少なかったのが残念。自分の呼びかけ不足を反省しながら、市民意識を改めて認識したところである。防災の観点からの意見、また障害のある方や高齢の方が困っている建物や駐車場の件なども当事者でないとわからない部分があった。本館についても残してほしいという声や、学校・民間商業施設利用の意見など市民の方もそれぞれ思いがあることはわかる。一つ一つの意見に対しての回答は、自分にとっても勉強になった。今後周りから意見を求められた際は、この案を参考に回答したいと思う。機会を作って、市民に対し、民の立場から自分も発信を続けていきたいと考えている。

委 員	これまで自分中心で考えていたが、皆さんの様々な意見や色々な制約があることが分かって良かったと思う。なお、この基本構想の中での懸念は、規模と建設費の問題。早く着手しなければ建設費は上がる一方であることから、前倒しはできないまでも予定通りのスケジュールで着手していただきたい。また基本計画の中で、もう少しサイズダウンをお願いしたい。場所は最終案がベストだと思うし、建設費は上がるかもしれないが駐車場は新設してもらいたい。本日も渋滞し交通にも影響をきたしていた。
委 員	規模は事業費も含め、今後進める基本計画で細かく精査し、深堀をしていただきたい。新庁舎整備は街の中心部の投資であり、市としてはそれなりの額となる。市庁舎周辺で建て替えを考えている民間の事業者もあると聞くので、そういったところと市庁舎整備が民間事業と連動していくことが望ましい。代替公園や本館の民間活用と併せ、この庁舎整備を呼び水として、複合的にいろいろな角度からとらえながら事業実施に当たってほしい。
会 長	我々委員が伝道師として、市民の方や民間の方にお話する機会があれば積極的に情報発信すべきである。19,000 m²の規模は、他の行政機関の平均値より狭いため、決して過大な面積ではない。今回は特に防災性を重視し、建設場所を笹林公園にしたことで9階建てという規模感になった。事業費についても CM(コンストラクションマネジメント)を入れて客観的に価格を落とす努力をすることを盛り込んだ。ただし、今後も資材費と人件費の値上がりが見通され、現在示している価格では難しいかと思う。しかしそこは私達のコントロール外でもあるので、なるべくコスト縮減する努力を行った結果がこの構想案であると、委員の皆様方には対外的に説明を行っていただきたい。 示した基本構想案に反対意見はなかったようであるので、審議会としてこの案を最終案として決定してよいか。
	(全員承認)
会 長	(3)答申案についての説明を求める。
事 務 局	資料3を説明。

委 員	名簿中、団体名の訂正をお願いする。
会 長	答申は、名簿を修正し、その他は配布の内容でよいか。
	(全員承認)
会 長	(4)今後の進め方について説明を求める。
事 務 局	1 月 28 日に本審議会の成果品として市長へ手渡していただく。 その後市議会への報告を行い、3 月に基本構想の決定予定。 28 日は 14 時半から、市長との懇談や写真撮影等を含め 30 分 程度を予定している。
会 長	当日参加できる委員には出席いただきたいがいかがか。
	森田委員、三原委員の挙手あり。
会 長	当日は、委員を代表して私を含め 3 名で答申を行うこととする。
	(全員承認)
会 長	6 回の慎重な審議に感謝する。 基本構想の最終案は、特に防災性、ユニバーサルデザインの観点から一番良い案にまとまったと思う。 これから先、大牟田市においても人口減少は避けられないが、その中でシビックセンターとしての機能を十分果たせる建物になることを祈っている。 作ったら終わりではなくて、活用していかないと意味がないと思い、付帯意見にお願いしたのが「公園との一体化」。現在、笹林公園はあまり利用されていないようだが、新庁舎建設後は、代替公園の整備と本館との一体利用といった市民の来訪できる仕掛けづくりを行ってほしい。 Park-PFI 制度なども視野に入れながら、まちづくり団体 UDC の設立もあったことなので、様々な方がこの公園でイベントを開

	催し、市役所への用事だけでなく市民が集う場となればと考える。 委員皆様の意見で、この審議会としていい案が提出できることに感謝を申し上げ、この審議会を終了する。
	議事の終了